

8 生涯学習について

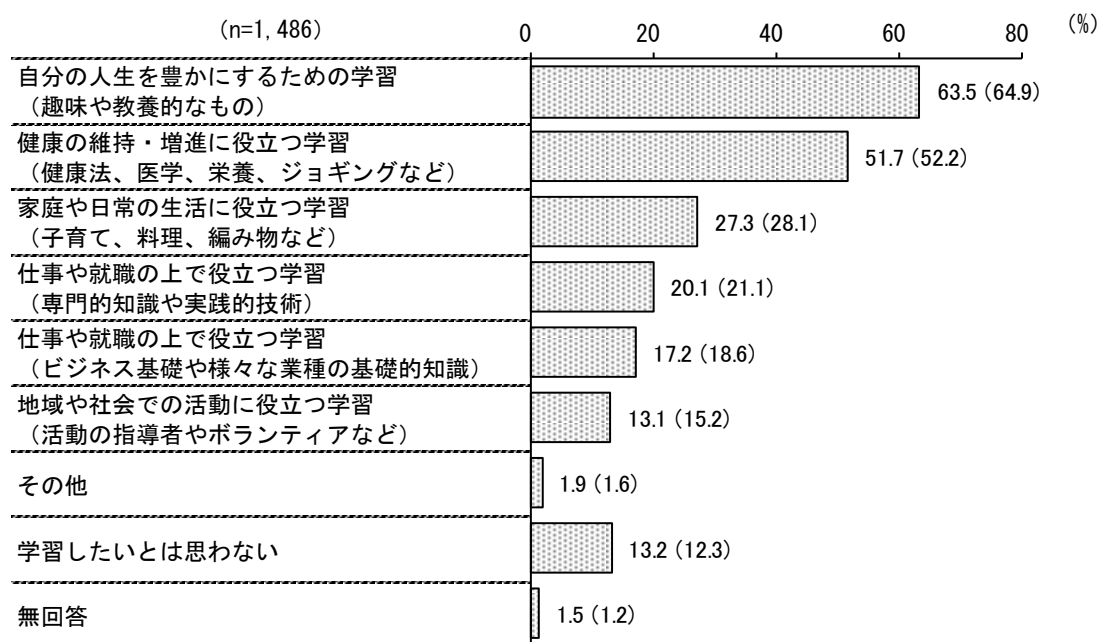
（１）今後学習したいと思うこと

◇「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」が６割台半ば

県では、人生100年時代到来や技術革新など、社会が大きく変化する中、新しい時代に合った生涯学習を推進していくため、今後の施策推進の参考にいたします。

問40 あなたは、今後、学習したいと思うことはありますか。（○はいいくつでも）

＜図表 8－１＞今後学習したいと思うこと（複数回答）



注）（ ）の数字は令和6年度の同様の項目による調査結果 n=1,535

今後、学習したいと思うことを聞いたところ、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」（63.5%）が６割台半ばで最も高く、以下、「健康の維持・増進に役立つ学習（健康法、医学、栄養、ジョギングなど）」（51.7%）、「家庭や日常生活に役立つ学習（子育て、料理、編み物など）」（27.3%）、「仕事や就職の上で役立つ学習（専門的知識や実践的技術）」（20.1%）が続く。

一方、「学習したいとは思わない」（13.2%）が１割を超えている。（図表 8－１）

【地域別】

地域別にみると、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」は“東葛飾地域”（68.9%）が約７割で高くなっている。（図表 8－２）

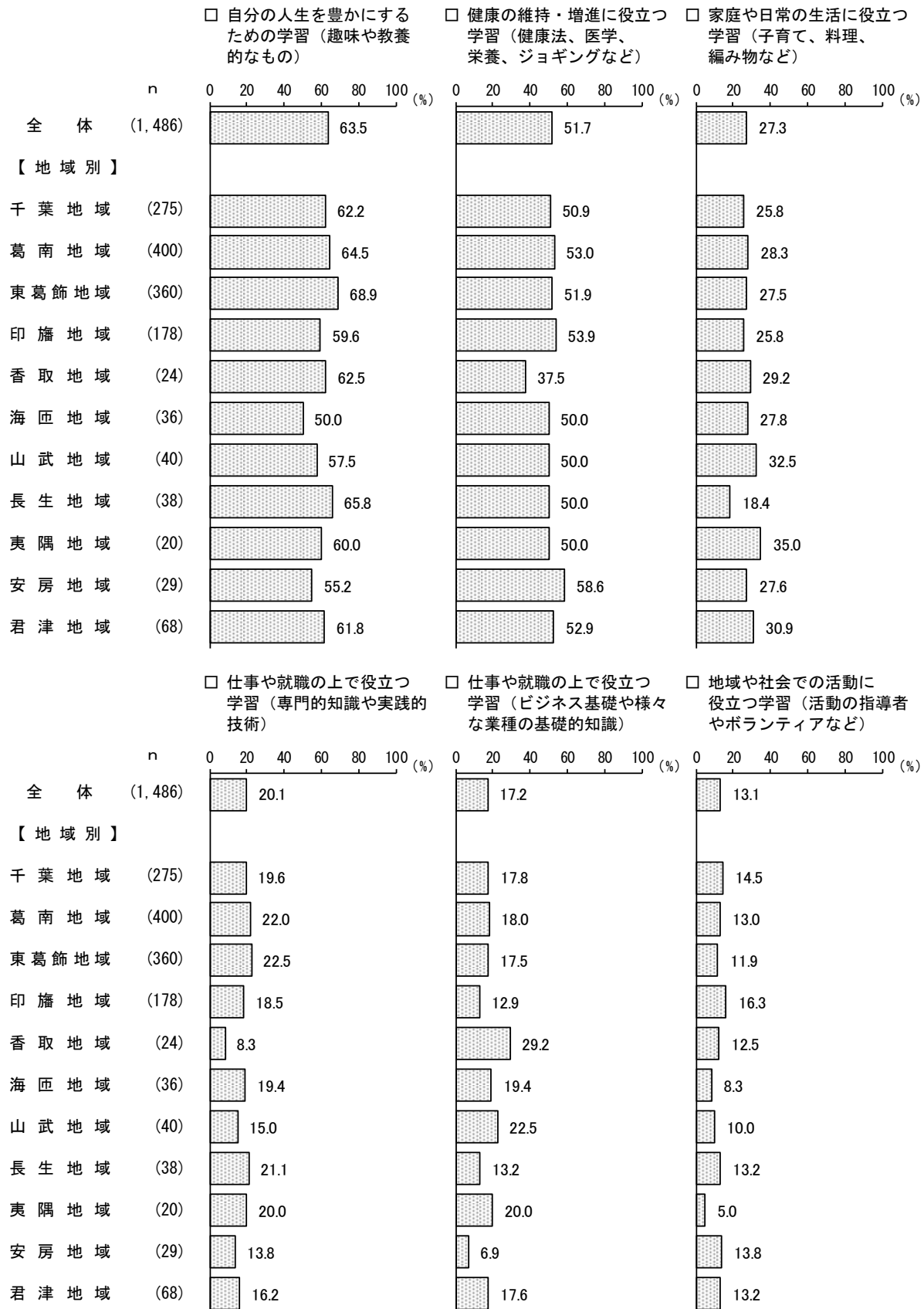
【性・年代別】

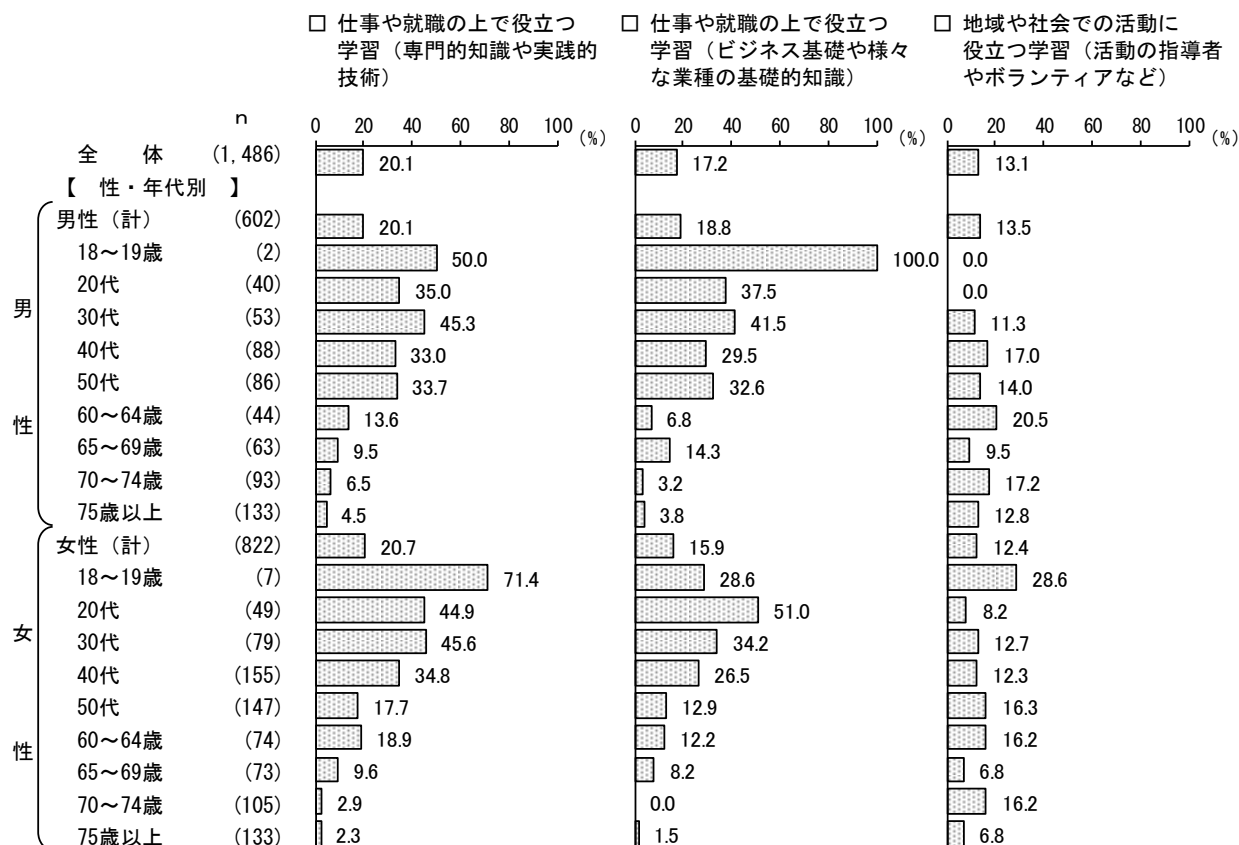
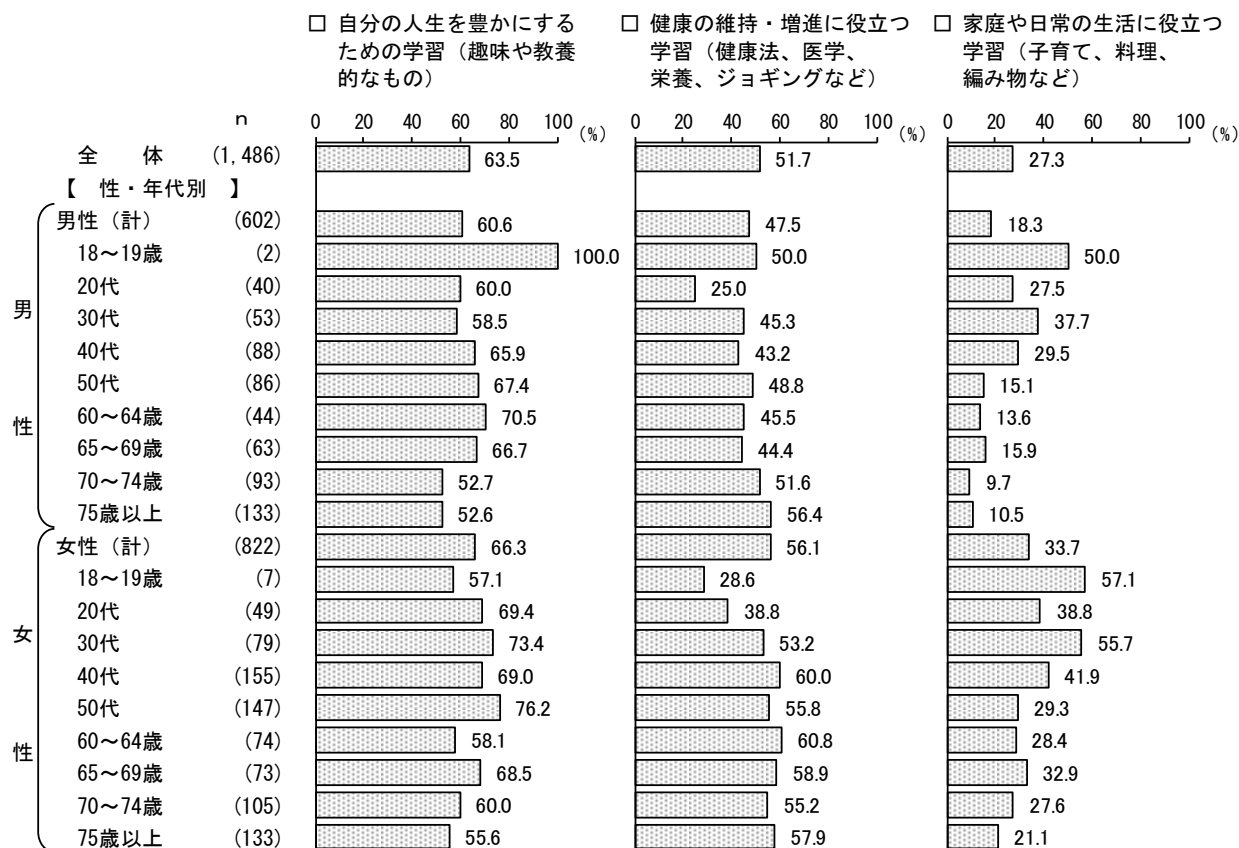
性・年代別にみると、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」は女性の50代（76.2%）が７割台半ばで高くなっている。

「健康の維持・増進に役立つ学習（健康法、医学、栄養、ジョギングなど）」は女性の40代（60.0%）が６割で高くなっている。

「家庭や日常の生活に役立つ学習（子育て、料理、編み物など）」は女性の30代（55.7%）が5割台半ば、女性の40代（41.9%）が4割を超えて高くなっている。（図表8－2）

＜図表8－2＞今後学習したいと思うこと（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）





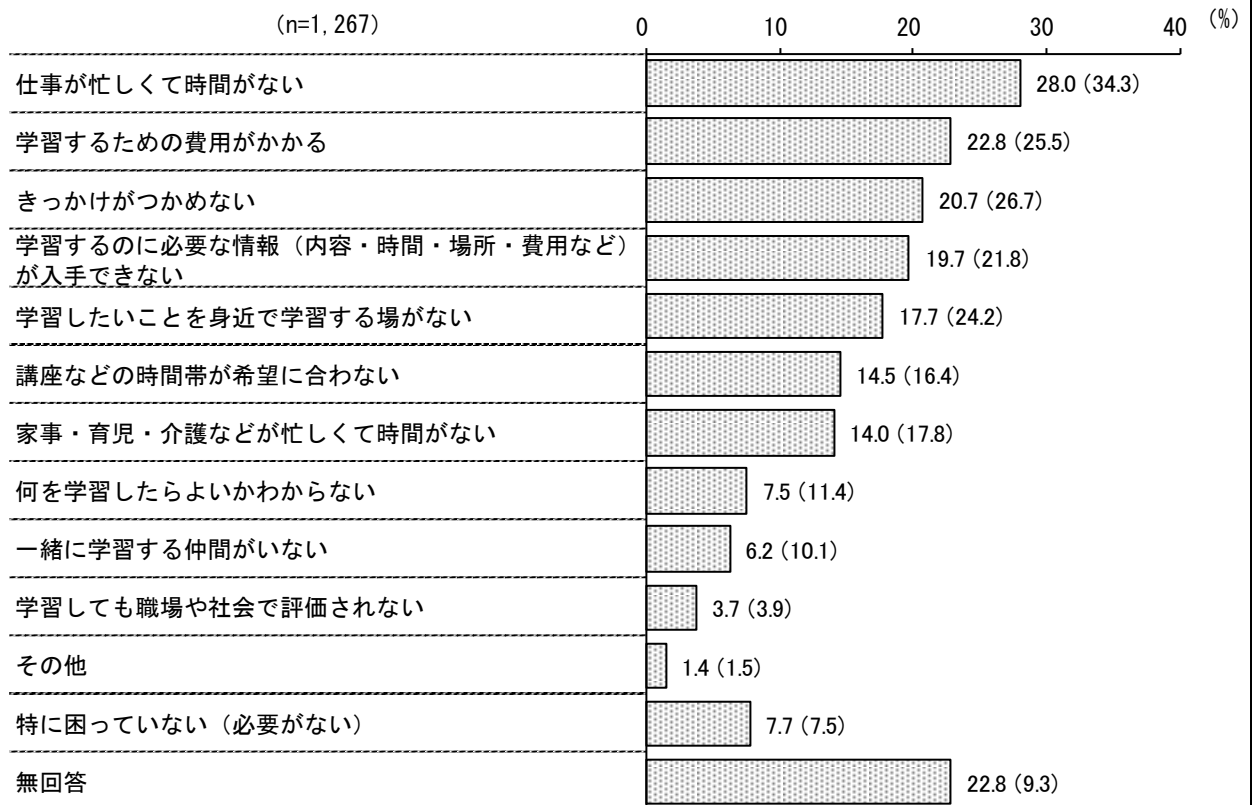
（１－１）学習する上で困っていること

◇「仕事が忙しくて時間がない」が約３割

【問40で「学習したいとは思わない」以外を回答した方】

問41 学習する上で困っていることは何ですか。（問40で「学習したいとは思わない」と回答した方は、学習したいとは思わない理由をお答えください。）（〇はいくつでも）

＜図表８－３＞学習する上で困っていること（複数回答）



注）（ ）の数字は令和6年度の同様の項目による調査結果 n=1,328

「学習したいとは思わない」以外を回答した1,267人に、学習する上で困っていることを聞いたところ、「仕事が忙しくて時間がない」（28.0%）が約３割で最も高く、以下、「学習するための費用がかかる」（22.8%）、「きっかけがつかめない」（20.7%）、「学習するのに必要な情報（内容・時間・場所・費用など）が入手できない」（19.7%）が続く。

一方、「特に困っていない（必要がない）」（7.7%）が約１割となっている。（図表８－３）

【地域別】

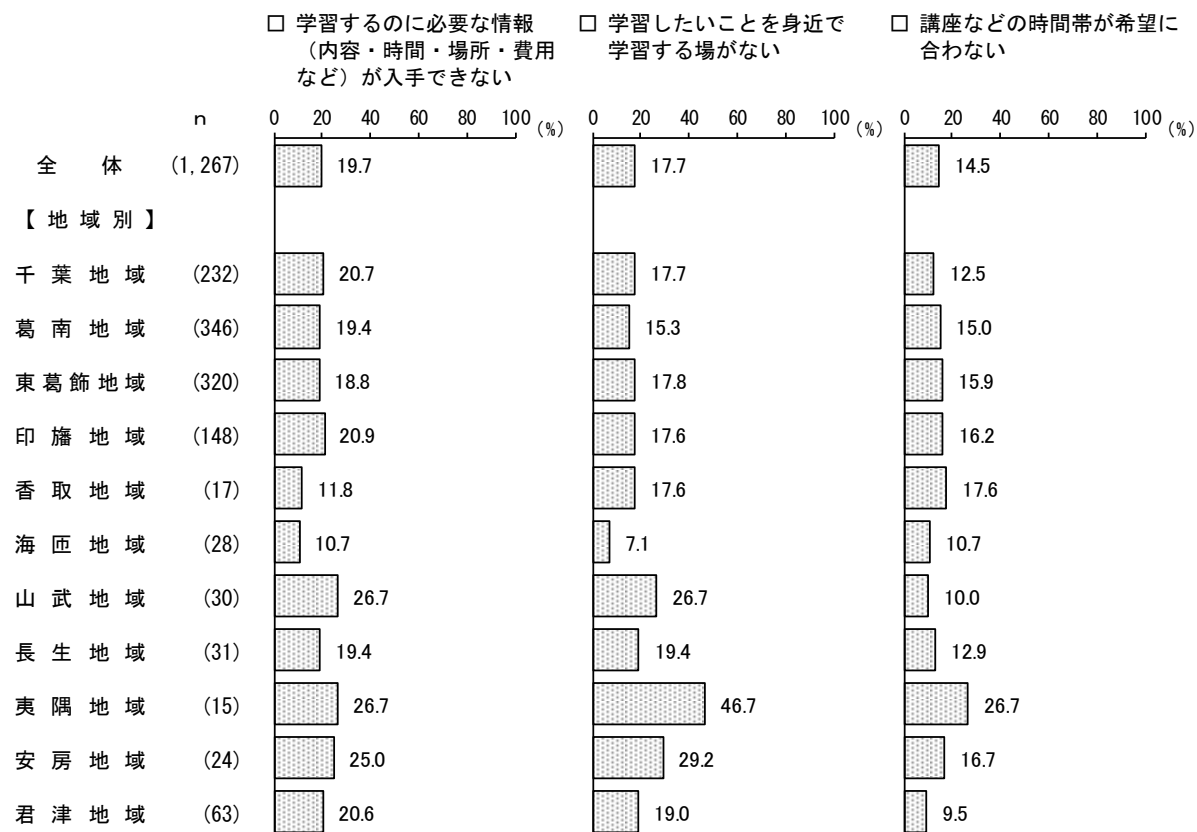
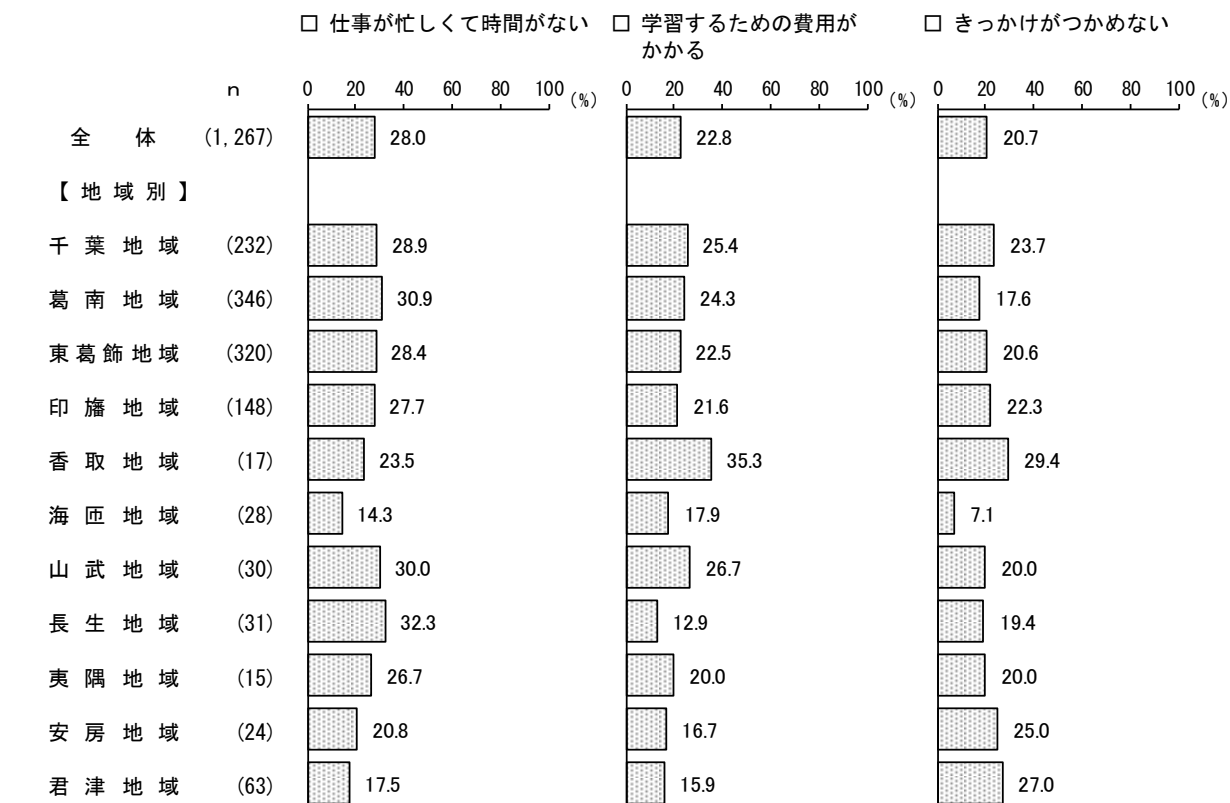
地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表８－４）

【性・年代別】

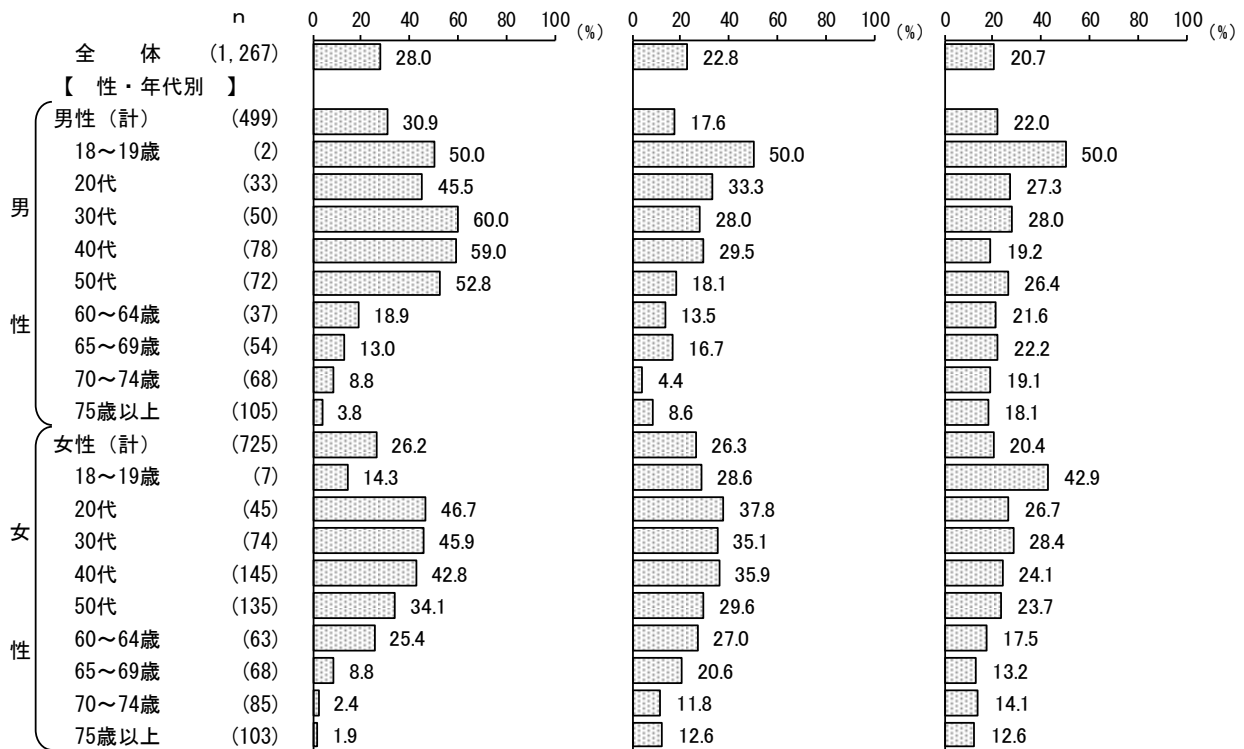
性・年代別にみると、「仕事が忙しくて時間がない」は男性の30代（60.0%）が６割、男性の40代（59.0%）が約６割、男性の50代（52.8%）が５割を超え、女性の20代（46.7%）、女性の30代（45.9%）、男性の20代（45.5%）が４割台半ば、女性の40代（42.8%）が４割を超え高くなっている。

「学習するための費用がかかる」は女性の20代（37.8%）が約４割、女性の40代（35.9%）と女性の30代（35.1%）が３割台半ば、女性の50代（29.6%）が約３割で高くなっている。（図表８－４）

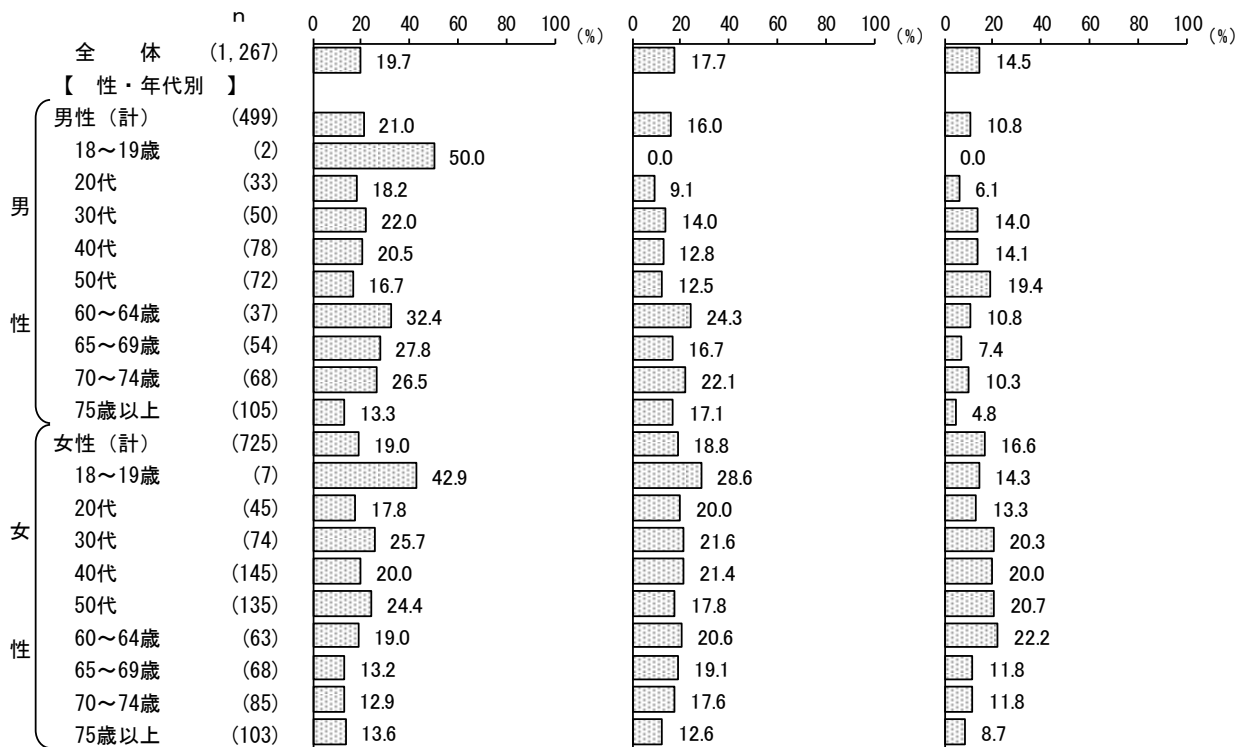
＜図表 8－4＞学習する上で困っていること（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



□ 仕事が忙しくて時間がない □ 学習するための費用がかかる □ きっかけがつかめない



□ 学習するのに必要な情報（内容・時間・場所・費用など）が入手できない □ 学習したいことを身近で学習する場がない □ 講座などの時間帯が希望に合わない



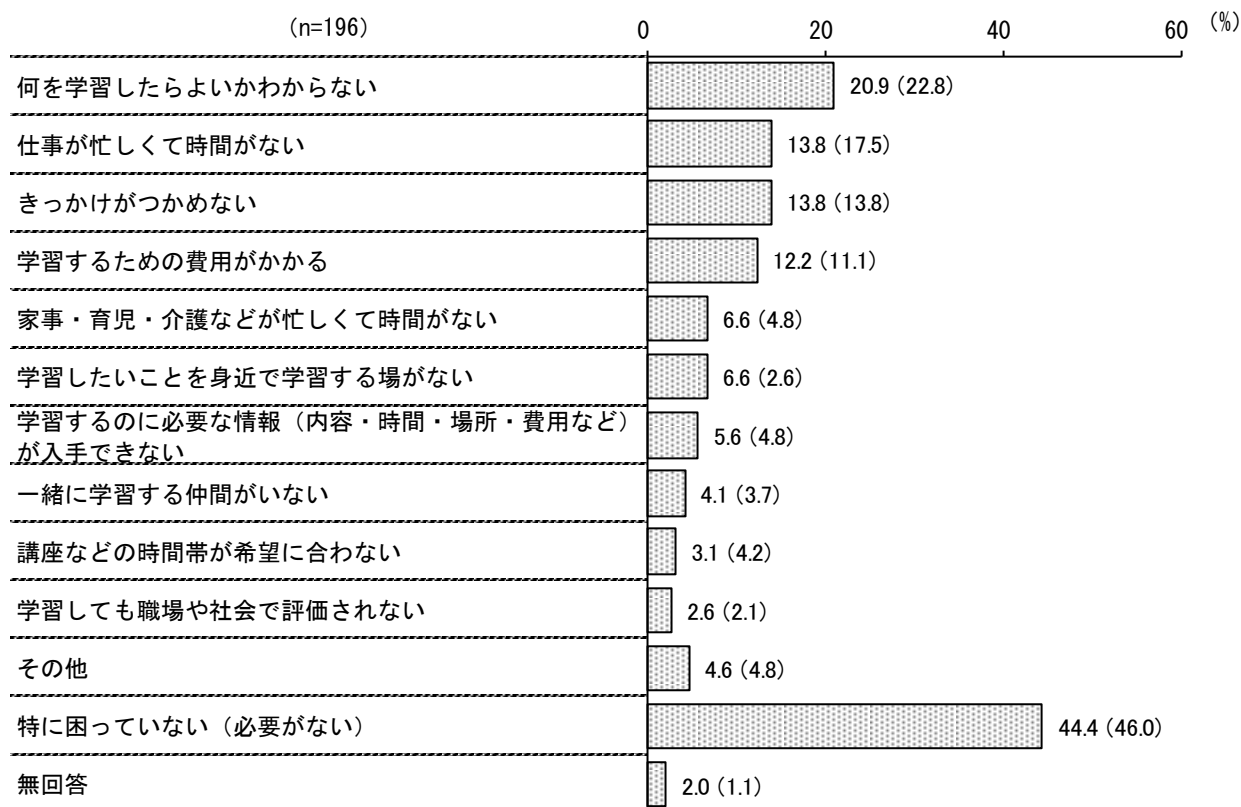
（１－２）学習したいと思わない理由

◇「何を学習したらよいかわからない」が２割

【問40で「学習したいとは思わない」を回答した方】

問41 学習する上で困っていることは何ですか。（問40で「学習したいとは思わない」と回答した方は、学習したいとは思わない理由をお答えください。）（○はいくつでも）

＜図表 8－5＞学習したいと思わない理由（複数回答）



注）（ ）の数字は令和 6 年度の同様の項目による調査結果 n = 189

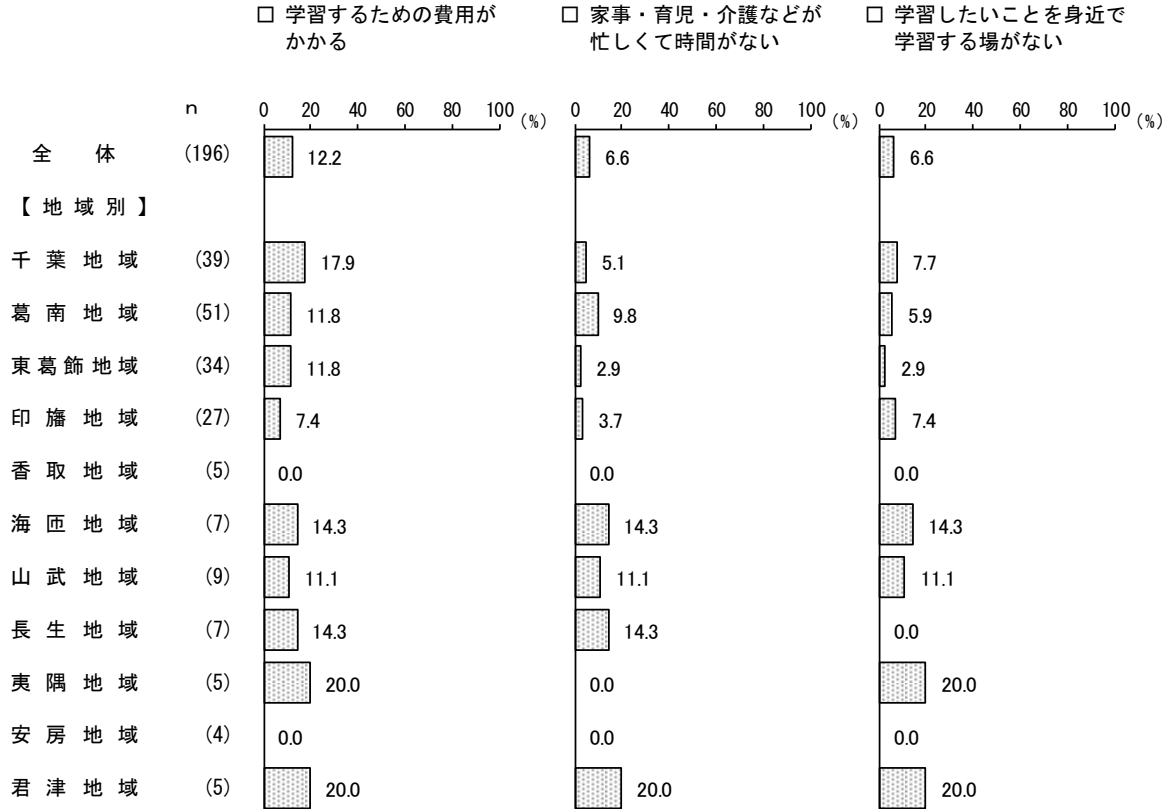
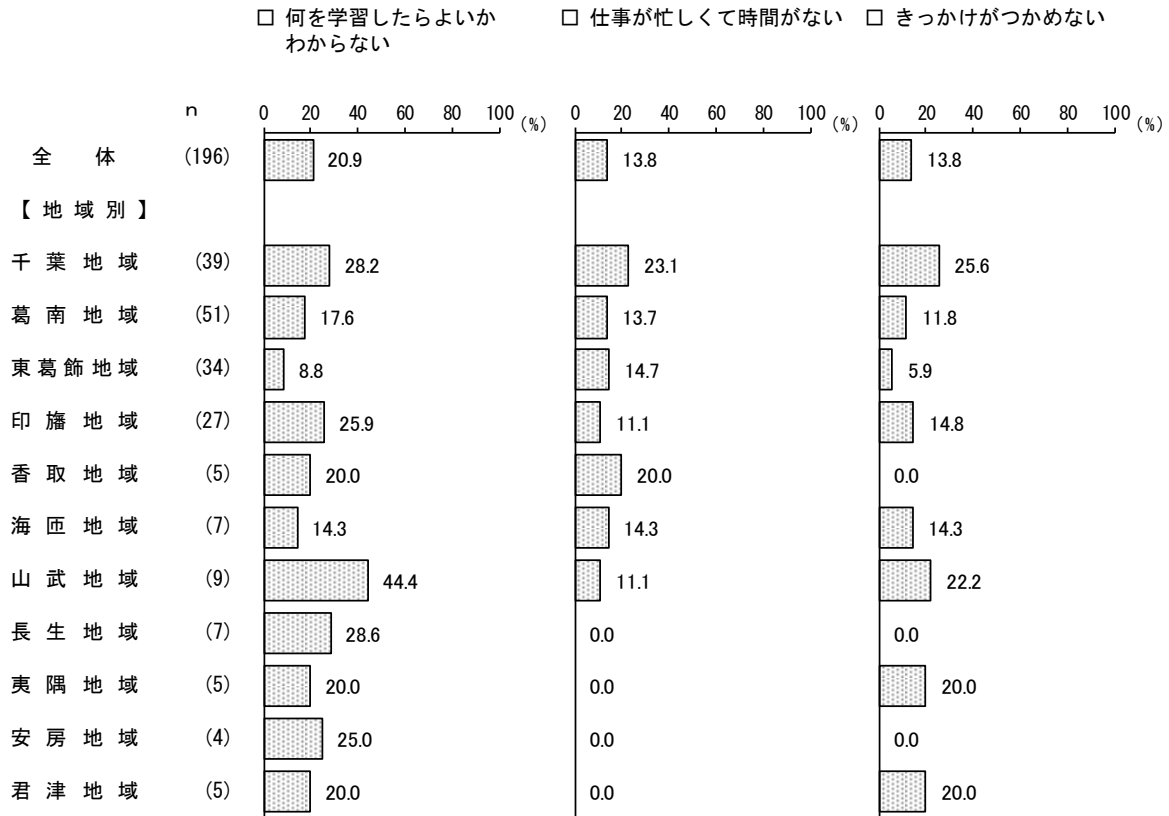
「学習したいとは思わない」と回答した196人に、学習したいとは思わない理由を聞いたところ、「何を学習したらよいかわからない」（20.9%）が２割で最も高く、以下、「仕事が忙しくて時間がない」、「きっかけがつかめない」（ともに13.8%）、「学習するための費用がかかる」（12.2%）が続く。

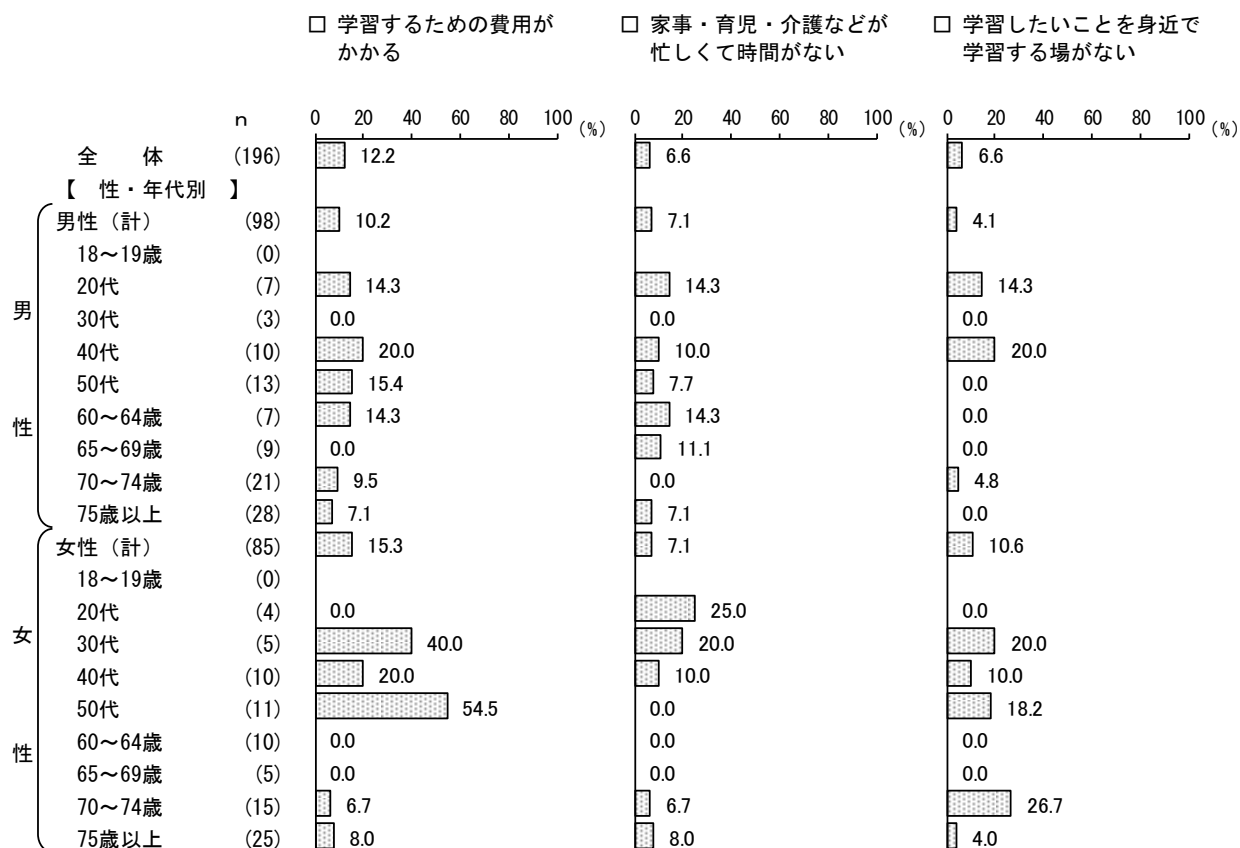
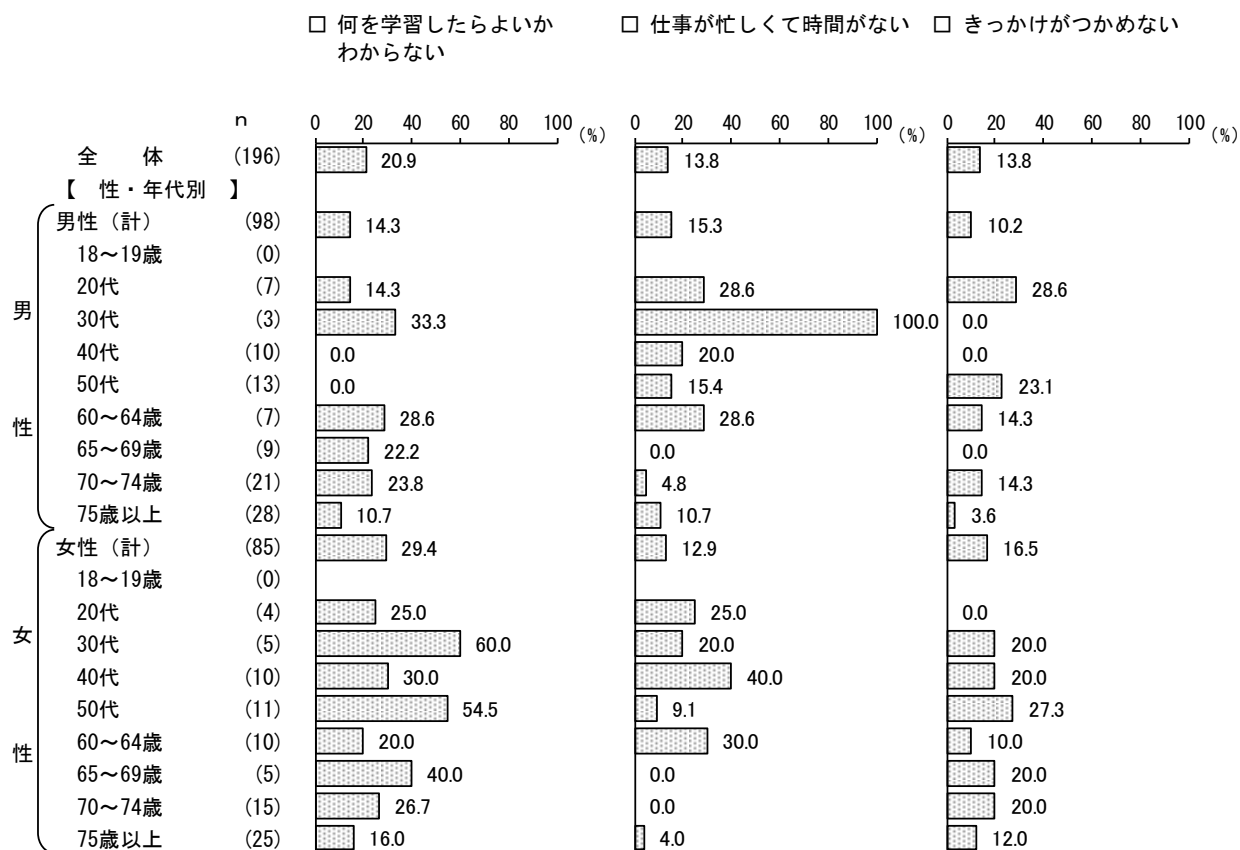
一方、「特に困っていない（必要がない）」（44.0%）が４割台半ばとなっている。（図表 8－5）

※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

（8 ページ「報告書の見方（5）」を参照）（図表 8－6）

〔参考〕＜図表 8－6＞学習したいと思わない理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



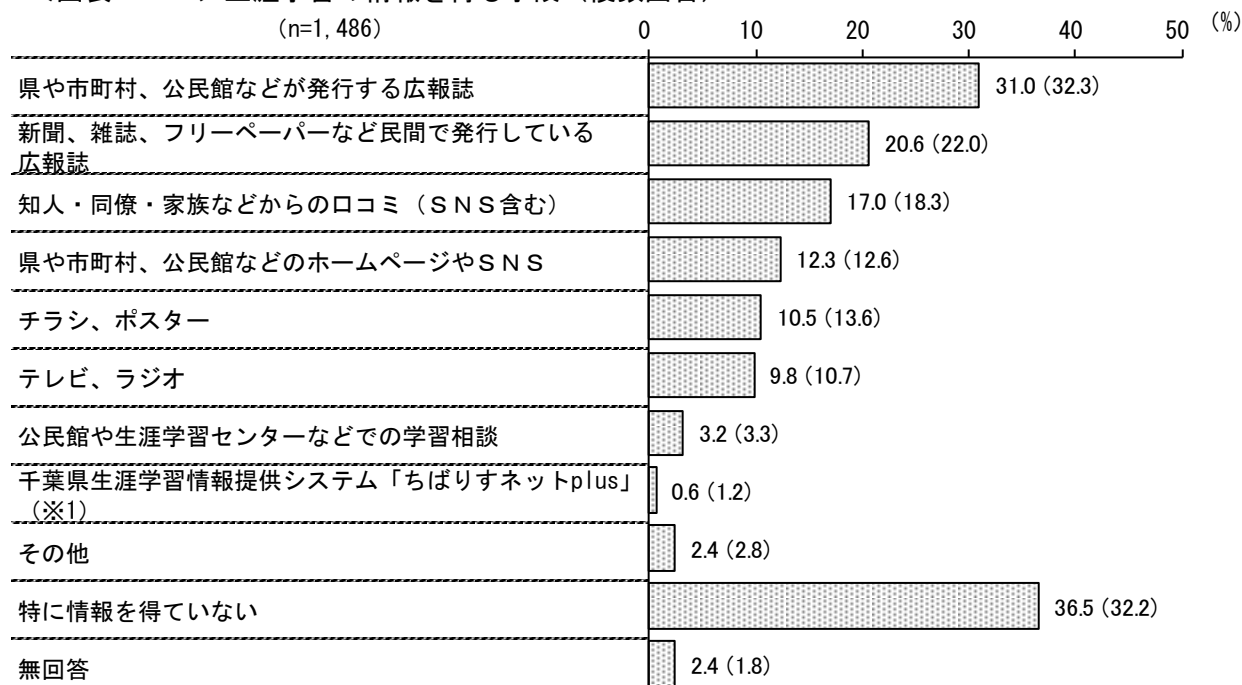


（２）生涯学習の情報を得る手段

◇「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」が３割を超える

問42 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。（○はいくつでも）

＜図表８－７＞生涯学習の情報を得る手段（複数回答）



注) () の数字は令和6年度の同様の項目による調査結果 n=1,535

(※1) 令和6年度調査では「千葉県生涯学習情報提供システム『ちばりすネット』」

生涯学習の情報を得る手段について聞いたところ、「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」(31.0%)が3割を超えて最も高く、以下、「新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌」(20.6%)、「知人・同僚・家族などからの口コミ（SNS含む）」(17.0%)、「県や市町村、公民館などのホームページやSNS」(12.3%)が続く。

一方、「特に情報を得ていない」(36.5%)が3割台半ばとなっている。(図表８－７)

【地域別】

地域別にみると、「新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌」は“葛南地域”(24.5%)が2割台半ばで高くなっている。(図表８－８)

【性・年代別】

性・年代別にみると「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」は女性の75歳以上(57.1%)が約6割、男性の75歳以上(55.6%)と女性の70～74歳(54.3%)が5割台半ば、女性の60～64歳(41.9%)が4割を超えて高くなっている。

「新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌」は女性の65～69歳(35.6%)が3割台半ばで高くなっている。

「知人・同僚・家族などからの口コミ（SNS含む）」は女性の40代(23.2%)が2割を超えて高くなっている。(図表８－８)

＜図表８－８＞生涯学習の情報を得る手段（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）

